

令和元(平成 31)年度 横浜市泉区社会福祉協議会 事業計画

本会は、社会的孤立や困窮、ちょっとした困りごとなど制度の狭間にある課題に対して、住民同士の「身近な地域のつながり・支えあい」を基本とした活動に引き続き取り組みます。

また、会員組織である本会のネットワーク機能を活かし、区内の様々な団体と連携しながら事業を推進します。

4年目を迎える生活支援体制整備事業は、社会福祉法人や企業等の多様な主体と連携を進め、高齢者等の地域生活に必要なサービスを創出し、支援の仕組みづくりを進めます。

地区社会福祉協議会(以下、地区社協)の活動理念である「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を地区社協と進めます。また、この理念を具現化するため、地区社協活動の人材や活動費の確保、情報発信、研修等に積極的に取り組みます。

本会専門機関部会が取り組む「泉サポートプロジェクト」の活動を支援するとともに、地区社協とのつなぎ役(コーディネイト)を果たし、地域に必要なサービスを創出します。

また、改正社会福祉法の趣旨に基づき社会福祉法人の地域貢献活動を支援します。

泉区では、高齢者の医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を地域ケアプラザエリアごとに進めています。今年度も区役所や地域ケアプラザ等と連携して、泉区の特徴を活かした仕組みづくりを進めます。

一方、国においては、子ども、障がい者、高齢者などすべての人が地域に暮らし、生きがいをともに創り、高め合うことができる「地域共生社会」づくりを進めています。

今年度は新しい時代の幕開けであり、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。ボランティア活動への関心の高まり、障がいへの理解の深まり、福祉教育への期待など時代を先取りして、「地域共生社会」の実現に向け取り組みます。

【重点取組項目】

1 生活支援体制整備事業の推進

地域住民が抱える生活課題に対して、介護、生活支援、居場所づくりなど具体的なサービス創出や地域の支えあいの仕組みづくりを進めます。

2 地区社会福祉協議会の支援

社会福祉法人や企業等の多様な団体との連携を強化して地区社協の支援を進めます。また、「地区社協のてびき」を活用して、地区社協活動の充実に向け取り組みます。

3 区内社会福祉法人との連携・支援

社会福祉法人との連携を強め、法人の地域貢献活動を支援します。また、「泉サポートネットプロジェクト」の活動を支援し、地域ケアプラザエリアごとに拡充します。

4 ボランティアセンターの機能強化

地域の福祉活動の担い手の発掘や育成を進めるため、講座等の内容を見直します。また、活動団体の情報や登録者名簿を整理、活用して、迅速な相談・調整に努めます。

5 地域における権利擁護の推進

高齢者や障がい者が、地域の中で安心して生活が送れるよう、権利を守るとともに個別の生活課題への相談支援を進めます。また、生活困窮者等への支援は、企業等からの食支援を通じた地域づくりを地区社協や地域の福祉保健団体等と連携して取組みます。

6 障がい児・者の社会参加や自立支援・理解促進

移動支援のニーズに応えるため人材発掘や育成に取組みます。また、障がい理解や災害時支援を進めるため、地区社協や地域防災拠点運営委員会等で当事者発研修を実施します。

7 子ども・子育て支援

子どもたちの育ちを支援するため、福祉教育やサマースクール（福祉体験学習）を充実します。また、食支援は、企業等と連携して子ども食堂等の居場所の拡充に努めます。

8 泉区地域福祉保健計画の推進

泉区計画及び各地区で策定した地区別計画を推進します。また、今年度は第4期計画策定に向けた取組みが始まります。住民ニーズを正確に把握し、反映させていきます。

9 善意銀行(寄付)や賛助会費等の広報と有効活用

善意銀行や賛助会費等については、広報紙の内容や広報媒体を見直し、区民にわかりやすく伝えます。また、善意銀行は、福祉の泉助成金の拡充等の有効活用を進めます。

10 災害ボランティアセンターの運営強化

運営マニュアルの見直しを進め、災害時に対応可能な体制づくりを進めます。また、泉区役所や地域防災拠点との連携を強化するとともに、備蓄品等の整備を引き続き進めます。

11 民生委員・児童委員との連携・支援

民生委員・児童委員の一斉改選が実施されます。特に新たな委員の活動を支援し、地域福祉保健活動を推進する重要なパートナーとしての関係強化に努めます。

12 事業の効率化・見直し・廃止に向けた取組

限られた組織体制の中で適正な事業執行を確保するため、事務・事業の効率化に努めます。特に送迎サービス事業については、本会の役割や介護保険サービスを始めとした他の送迎サービス事業の状況を踏まえ、見直しを検討します。

13 区社協事業や地域福祉活動の理解促進・適正な法人運営

区社協の取組や財源等を積極的に周知します。また、「組織のガバナンス強化」「事業の透明性確保」「財務規律の強化」「人材育成」を進め、区民の期待や信頼に応えます。

■ 事業計画

この事業計画は、第3期泉区地域福祉保健計画を推進するため、計画の推進の柱1(1-1、1-2)、柱2(2-1、2-2)、柱3(3-1、3-2)に連動した形で策定しています。

また、主な事業の予算額を表示(31年度予算額[30年度予算額])しています。

1 いつまでも健やかに暮らせる地域づくりを支援する

1-1 健康寿命を延ばすための健康づくりを進める

(1) それぞれの年代に応じた健康づくり

いつまでも健康な生活をおくることができるよう、健康づくりの取組みを進めます。

【取組事項】

- ①地区社協等が行う高齢者食事会や散策事業等の支援
- ②町内会やシニアクラブ等が実施する健康づくり活動の支援
- ③区内高齢者食事会・子ども食堂等食事会連絡会(仮称)の設置

(2) 認知症に対する正しい理解と見守りの拡充

認知症の正しい理解を広げ、支援する区民を増やします。

【取組事項】

- ①地区社協、地域ケアプラザ等と協力して、認知症を理解するための講座等の実施
- ②泉区認知症キャラバンメイト連絡会への参画と活動支援
- ③企業等への認知症に対する理解啓発活動

1-2 安心して暮らし続けられる環境をつくる

(1) 生活支援体制整備事業

200千円[200千円]

地域ケアプラザ、地区社協、自治会町内会、ボランティア団体、施設や企業など多様な団体との連携を深め、高齢者の生活支援・介護予防の充実のため生活支援の担い手の発掘・育成や新たな活動の創出に取組み、地域包括ケアシステム構築に向け取組みます。

【取組事項】

- ①地域活動に取組む団体等を対象とする研修会の実施
- ②区と協働した区レベル協議体の開催、及びケアプラザ協議体の開催支援
- ③第2層生活支援コーディネーター連絡会の開催、定期的なヒアリング等による、第2層コーディネーターの取組み状況把握及び総合的支援
- ④専門機関部会が地域貢献活動(移動困難者支援やちょっとした困り事の解決に向けての活動)のために立ち上げた「泉サポートプロジェクト」がケアプラザエリア毎に拡充。エリア毎の見守り・つながり、生活支援、居場所づくりなど、より具体的なサービス創出や支えあいの仕組みづくりの構築

(2) 身近な地域をつながり・支えあい推進事業

133千円 [200千円]

様々な生活課題を抱えている人に対して、地区社協など地域の福祉保健関係者と連携しながら、身近な地域による支援に結びつけます。また、生活支援体制整備事業による住民等の主体的な活動を支援することにより、身近な地域でのつながり支えあいの地域づくりを推進します。

【取組事項】

- ①区・包括カンファレンス等への参画をもとに、個別・地域課題の継続的な把握

②住民支えあいマップ等の研修会の実施

(3) 子どもの支援

子どもの健やかな育ちの支援として子育て中の孤立感の解消などを目的に地域における子どもの居場所づくりや子育て支援を応援します。また、子育て支援にかかわる支援者への支援に取組みます。

【取組事項】

①子育てネットワークへの参加

ア 泉区子育て支援連絡会・子育てサークルリーダー研修会・子育てサロン連絡会の事務局として、区役所、子育て拠点すきっぷとともに子育て中の親子支援の検討、研修会の実施

イ 地域ケアプラザエリア子育てネットワークに参加し、エリア内の子育て課題の検討、支援

②子ども食堂等の居場所づくり支援

J A横浜等の企業と連携して食を通じた地域づくりを進めます。

③区内関係機関との区内の子どもの状況についての情報共有

区役所やスクールソーシャルワーカーと子どもの置かれている状況について情報共有を進め、地域のボランティア等と協力しながら子どもの健やかな育ちを支援します。

(4) 権利擁護

399千円 [673千円]

高齢者や障がい者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう相談・契約によるサービスを行います。地域包括支援センターや障害者後見的支援室等との連携を図ります。また、横浜市市民後見人バンク登録者の泉区登録者の支援を行います。

	H28実績	H29実績	H30見込	H31見込
権利擁護事業契約件数(件)	41	42	47	55

(5) 送迎サービス(移送サービス・外出支援サービス)

4,926千円 [5,075千円]

外出が困難な在宅の高齢者・難病患者に対し、通院、福祉施設、行政等での手続きなどの際に送迎を実施し、外出の機会を提供します。また、送迎サービス事業の今後について、本会の役割や介護保険サービスを始めとした他の送迎サービス事業の状況を踏まえ、見直しを検討します。

	H28実績	H29実績	H30見込	H31見込
送迎サービス事業利用件数(件)	1,455	1,242	1,056	900
登録者数(人)	282	270	261	250

(6) 移動情報センター事業

9,192千円 [9,033千円]

障がい児者の通学通所や通院、余暇活動等外出機会の移動手段に関する情報収集・発信、相談調整、人材発掘・育成を行います。

	H28実績	H29実績	H30見込	H31見込
ガイドボランティア登録件数(件)	23	26	40	35

【取組事項】

①推進会議、事業者連絡会の開催

②ガイドボランティア講座等の開催及びボランティアの確保・養成

ア ボランティアセンターや関連機関等と連携し、ガイドボランティアの相談が多いエリアやガイドボランティアが不足しているエリアを重点に講座等の開催

イ 地域住民に向けての障がい児者への理解を深める活動

ウ ガイドボランティアへのフォローアップ

③自治会町内会、地区社協、泉区障害者自立支援協議会、関係団体への事業のPR活動

(7) 生活困窮者自立支援施策への対応

3,163 千円 [3,145 千円]

生活困窮者自立支援法において、生活福祉資金貸付事業や総合相談、区役所生活支援課との連携を通して支援に取組みます。

①生活福祉資金貸付事業相談件数

※()は貸付決定件数

	H28 実績	H29 実績	H30 見込	H31 見込
総合支援資金	44(0)	63(0)	5(0)	5
臨時特例つなぎ資金	8(0)	6(0)	0(0)	5
緊急小口	66(0)	47(0)	7(0)	5
福祉資金(教育支援資金等)	1,127(21)	532(18)	1,080(39)	1,000
不動産担保型生活資金	16(0)	24(0)	21(0)	25
その他	42(-)	32(-)	30(0)	30

②食糧支援

生活困窮者や緊急的に食糧支援が必要な方に対しては、セブンイレブンやフードバンク神奈川と連携して食糧支援を行い、自立に向けた支援をします。

(8) 泉ふれあい助成金・福祉の泉助成金

13,063 千円 [15,382 千円]

身近な地域の支えあい活動や障がい当事者活動、住民主体の活動を推進するため「泉ふれあい助成金」及び「福祉の泉助成金」を通じた活動支援を行います。「福祉の泉助成金」においては今年度より常設拠点支援助成と食事サービス事業助成の区分を新設し、地域活動の推進を図ります。

	H28 実績	H29 実績	H30 見込	H31 見込
助成団体数(件)	204	197	200	200

2 人やさまざまな活動でのつながりや交流が進む地域づくりを支援する

2-1 地域の中でより多くの人との交流を進める

(1) 様々な人との交流の推進

250千円 [250千円]

【取組事項】

- ①第28回ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会の実施(協働事業:区内の中・高・大学生のボランティア参加)。大会当日は、2020年東京オリンピック、パラリンピックを見据えた啓発ブースを設置し、協力団体より提供された写真やパネルを展示します。
- ②ジュニアボランティアの活動機会を提供(福祉イベント、共同募金街頭運動など)

(2) サポートが必要な人への理解の推進

20千円 [209千円]

【取組事項】

- ①泉区福祉の作品展を開催し、その周知と障がい者への理解・啓発の推進
- ②障がい理解・啓発を目的に、区内施設等の利用者やその家族、職員と協力し、セイフティネットプロジェクト横浜出前講座を実施
- ③泉区障害福祉自立支援協議会への参画
障がい者や家族が安心して暮らすことができるよう部会、委員会で課題解決に向け検討を進めます。また、支援職員のスキルアップを図るため研修会等の開催を支援します。

(3) 福祉教育

120 千円 [100 千円]

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の機運を捉え、プログラムの内容を充実

して取組みます。また、区内の学校等に向け、福祉教育相談のPRを行います。

【取組事項】

- ①学校、企業、地域住民等を対象に、障がいや認知症理解等の福祉教育(啓発)を実施
- ②小中高生対象「サマースクール2019」(福祉体験学習)の実施

2-2 活動のネットワークと連携を強化する

(1) 地区社会協議会(地区社協)活動の支援 7,770千円 [7,780千円]

身近な地域のつながり・支えあい推進事業を進めるなか、地区社協のてびきに基づき、地区社協の目的である「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を推進できるよう支援します。

【取組事項】

- ア 地区社協分科会の定例開催
- イ 地区社協(区域)研修の開催、地区研修の開催支援
- ウ 地域アセスメント、地区診断の実施
- エ 地区社協状況書作成支援から地区社協の活動を把握し対外的に発信
- オ 区社協賛助会費への理解促進
- カ 地区社協活動の広報活動
- キ 地区社協活動費の交付
- ク 地区社協てびき研修の実施
- ケ 地区社協検討会(市社協主催)の内容から市域情報の発信、情報共有と検討
- コ チャリティーコンサート(共催:区社協・12地区社協・区役所)開催検討

(2) 災害ボランティアセンターの機能強化 80千円 [80千円]

災害ボランティア連絡会や関係機関等との協力体制を構築し、災害時に備えた体制づくりを進めます。

【取組事項】

- ①災害ボランティア連絡会の運営・活動支援
 - ア 災害ボランティアセンター開設運営に関する内部研修及び区社協職員研修の実施
 - イ コーディネーターの確保、養成
- ②ブロック別災害ボランティアセンターネットワーク連絡会への参加
- ③区役所や地域防災拠点との連携強化
- ④備蓄品や資機材の整備(継続)

(3) 民生委員児童委員の活動支援

地域の身近な相談役である民生委員児童委員、主任児童委員が抱える個別課題に対して、支えあいマップ研修などを通して活動を支援します。また、民生委員活動への理解を深めるため広報・啓発活動に取り組めます。

(4) その他

障害者地域作業所等通所者の社会参加を促進するため、広報紙の一部配付業務を障害者地域作業所等へ委託します。また、工賃の確保を支援するため、自主製品等のイベント等での活用を区内企業や法人施設に働きかけます。

3 地域活動への参加が活発になる地域づくりを支援する

3-1 地域活動の担い手を養成する

(1) 新たな担い手の育成(ボランティアセンターの運営) 904千円[904千円]

ボランティアや地域住民による活動に関する様々な相談に応じます。また、地域福祉活動を担う人材確保・育成のため、テーマ別、対象別などのボランティア講座を移動情報センター等と連携し実施します。

若い世代のボランティア活動への関心や参加を促進するため、中学生・高校生に向けた情報発信や相談を強化します。

【取組事項】

ボランティア講座の開催

ア ボランティア入門講座

イ 関係機関等とのボランティア活動分野別、エリア別講座の開催

ウ 地区ボランティアセンター（ちょっとしたボランティア活動）支援

エ ガイドボランティア講座

オ 障がい理解講座

ボランティア相談の実施

(2) 担い手と地域活動のコーディネート

区民や企業等からの相談に対して、ボランティア団体や地域ケアプラザ等によるネットワーク機能を活かし、地域の活動へつなげていきます。また、障がいがある方への社会参加について、地域ケアプラザ等と連携し支援します。

【取組事項】

① 地区社協等の地域活動の担い手育成

② 登録更新者へのフォローアップ

③ 登録者情報を得意分野や居住地別等の分類別に検索可能に整理

④ 「人財バンク」の情報更新（区民活動支援センターとの協働事業）

(3) 活動継続のための支援 100千円[100千円]

ボランティア活動継続のために各種情報提供や、ボランティア・団体間の交流やつながりを支援します。

【取組事項】

① ボランティアネットワーク運営委員会の開催

② ボランティアネットワーク各部会の合同開催

③ ボランティアの意見交換会や講演会の実施

④ ボランティアフォーラムの開催

(4) 泉区福祉保健活動拠点の運営 16,218千円 [16,456千円]

夜間、日祝の利用者を増やし、稼働率を高めます。また、拠点窓口を通じボランティアの発掘や育成を行います。〔指定管理期間：H28.4.1～H33.3.31〕

	H28 実績	H29 実績	H30 見込	H31 見込
登録団体件数（件）	222	240	243	245
利用実績（延べ件数）	2320	2,418	2,600	2,650

【取組事項】

① 窓口や利用登録団体懇談会などを通じて利用者ニーズの把握を進め、サービス提供及びボランティア間の連携強化の支援

- ②夜間及び日祝の稼働率向上のため、拠点の広報活動の強化
- ③ボランティアセンターと連携した研修会や講座を実施し、人材発掘を推進
- ④新拠点の整備及び新たな利用方法の検討

(5) 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーターの支援 86 千円[82 千円]

地域住民の福祉活動を支援する地域活動交流コーディネーターを支援するため、研修会や各種講座等を地域活動交流コーディネーターと協働で開催します。

3-2 地域の活動に関心を持つ人を増やす

(1) 地域情報や活動に関する情報発信

【取組事項】

- ①区社協だより泉の発行（年2回）
- ②タウンニュース紙の活用（年1回）
- ③ボランティア向け情報「キラぼら泉」の発行（年3回）
- ④「ボランティアセンター通信かわら版」の発行（年2回）
- ⑤「ボランティアセンター通信ジュニア版」の発行（年1回）
- ⑥区社協ホームページの活用
- ⑦災害ボランティア通信の発行（年2回）
- ⑧泉区民ふれあいまつりなどでの 防災・災害ボランティア活動に関する啓発活動、災害ボランティアフェスタの開催（共催：災害ボランティア連絡会）

(2) その他の取組

- ①泉区社会福祉大会における福祉活動功労者に対する顕彰
- ②善意銀行（寄付金品の受付、配分）の運営とパンフレット作成による周知活動
- ③介護フェア開催協力（主催：泉区老人福祉施設長研究会）

4 社会福祉協議会活動・法人運営

(1) 「第3期 泉区地域福祉保健計画」の推進と「第4期 泉区地域福祉保健計画」策定に向けた検討

- ①区役所との共同事務局による3期計画の推進及び4期計画策定に向けた検討
- ②3期計画推進及び4期計画策定にあたって、地域ケアプラザ等関係機関との連携
- ③地域福祉保健推進協議会への参画
- ④地域支援チームへの参画（「地区別計画」では、3期計画の推進及び4期計画策定に向けた支援）
- ⑤地区社協の運営・活動支援

(2) 公益性の高い社会福祉法人として、適切な組織運営

- ①理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催
- ②各種部会、分科会の開催
- ③各種委員会の開催
 - ア ボランティアセンター運営委員会
 - イ 広報編集委員会
 - ウ 助成金配分審査委員会
- ④計画的で透明性の高い業務執行、法律や規定に基づいた適切な事務・経理処理
- ⑤会員及び賛助会員の募集と賛助会費の有効活用
- ⑥BCP（災害時の業務継続計画）の適宜、見直し

(3) 社会福祉法人支援

社会福祉法の改正により、社会福祉法人の公益性、組織管理・財務規律の強化などが進められていますが、本会会員である社会福祉法人・施設の取組みを引き続き支援します。また、本会専門機関部会が立ち上げた「泉サポートプロジェクト」の取組みを支援します。

(4) たすけあい福祉資金給付（火災等の罹災者への見舞金）

(5) 行路病人への支援（行き倒れや行き場のない方への緊急措置として一時金の支給）

(6) 関係機関の事務局機能

地域で活動する各種福祉団体の事務局を担い、活動を支援します。また、各団体の活動を広報し、理解啓発に努めます。

- ①神奈川県共同募金会泉区支会
- ②日本赤十字社神奈川県支部泉区地区委員会
- ③泉保護司会
- ④泉区更生保護女性会
- ⑤泉区更生保護協会
- ⑥泉区遺族会